

ふたみきた

2024年(令和6年)6月28日
明石市立二見北小学校
学校だより 第502号

「当たり前」の反対は？

教頭 梅本 欣司

「当たり前」の対義語は、「有難い(ありがたい)」であり、そこから派生した言葉、「ありがとう」なのです。どちらも感情を表す言葉ですが、「当たり前」と感じたり、「ありがたい」と感じたりするということは、反対の感情表現ということになります。不思議なことに、同じ事柄に遭遇した時であっても、人によってその感情は二つに分かれたり、また同じ人であっても、その時の心の状態によって二つに分かれたりすることがあるのです。具体的な例を挙げると、梅雨の時期に雨が降った時、「梅雨の時期だから当たり前」と思う人と、「恵みの雨だ、ありがたい」と思う人がいます。別の例としては、病気やけがをした時は、健康であった時の「ありがたさ」を痛感し、健康になったらその時感じた「ありがたさ」は次第に薄れ、「当たり前」になってしまう人も多いことでしょう。

さて、6月24日(月)から本日28日(金)まで、本校においては「命の週間」と題し、学年に応じた教材を使い、命の大切さについて学習しました。その学習発表の場として、7月1日(月)には、「命の集会」を設けています。これは、6月下旬に本校の児童がため池で命を落としたことへの追悼と教訓を考える場とすると共に、改めて「命の大切さ」について考える機会とするためです。とりわけ、6年生は平和学習の取り組みにおいて、「生きていること」や「平和であること」を「当たり前ではない」と考えるようになってきました。

ところで、日頃、私たちは自分の周りの「人、物、こと」に対して、どれだけ「ありがたい」という感謝の気持ちをもっているでしょうか。それが身近であればあるほど、その気持ちは薄れてはいないでしょうか。また、何不自由ない生活を送っていると感じている場合ほど、その気持ちは薄れているかもしれません。この点で、「今の子どもは、昔の子どもに比べ感動体験が少なく、感謝の念が弱い」と言われています。これは、物心ついた時から周りには便利なものが溢れており、それを当たり前と感じているからではないかと言われています。そんな子どもたちに感動体験をさせてやったり、感謝の気持ちをもちせたりできるかどうかは、私たち大人の役目です。特別なことはなくても、日頃から、「いただきます」、「ありがとう」、「助かるわ」などの感謝の気持ちを表したり、「すごいなあ」、「すばらしいねえ」など感動している姿を子どもにも見せたりすることで、良きお手本となれるのではないのでしょうか。

今月の予定

日	曜	行事
1	月	命の集会
2	火	きらきらの会(3年) Fタイム(サークル) 1~4年 14:20 下校
4	木	きらきらの会(4年)
5	金	スクールカウンセラー来校日
9	火	代表委員会 きらきらの会(6年)
11	木	子ども安全の日 きらきらの会(5年、わかば) 修学旅行説明会(16:00~)
15	月	海の日
16	火	平和学習・麦わら帽子の会(6年)
17	水	1学期給食最終日
18	木	短縮4時限 12:00 下校
19	金	終業式 短縮4時限 12:00 下校
22	月	夏季休業日(~8/27)
23	火	個人懇談会(8:30~12:00)
24	水	個人懇談会(8:30~12:00)
25	木	個人懇談会(8:30~12:00)
29	月	図書室開放(9:00~11:00)(7/31までの3日間)

8月の主な予定

28日:始業式 地区別一斉下校 12:00
29日:身体測定(6年) 12:00 下校
30日:身体測定(5年) 12:00 下校 自然学校説明会(5年)

学年紹介

スマイルいっぱい3年生☆

3年生になり、新しく勉強する教科がたくさんできました。生活科が理科と社会になり、初めての外国語活動ではネイティブの先生と外国語に親しみ、音楽ではリコーダーの学習にも取り組んでいます。理科では、モンシロチョウやアゲハチョウの成長を学習して、たまごから成虫になるまでを見守りました。社会では、校区探検と二見町探検に行って住んでいる町のことをたくさん学んでいます。自分たちが住む町の良いところや自慢を壁新聞や学年の掲示板にまとめたので、来校の際には、是非ご覧ください。また、総合的な学習の時間では、トウモロコシの皮むき体験にも取り組みました。新しいことにどんどんチャレンジする、スマイルいっぱいの3年生です。